



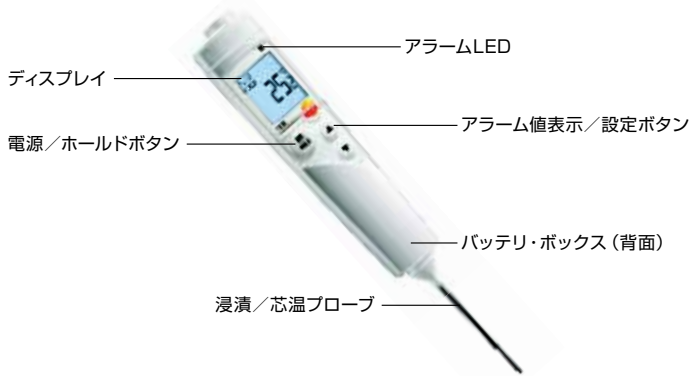
testo 106 食品用中心温度計

取扱説明書

1. はじめに

ご使用前に、この取扱説明書をよくお読みいただき、正しい取り扱い方法をご理解ください。この説明書は、いつでも、すぐに見ることができるようお手元に置いてお使いください。

2. 各部の名称



testo106 取扱説明書 0973 1063 J 02 (07.2018)

3. 安全上のご注意

次の安全上の注意をよくお読みください。

⚠ 感電の回避:

- ▶ 通電部品の上あるいは近くで測定を絶対に行わないでください。

⚠ 安全な取り扱い/保証条件の遵守:

- ▶ テクニカル・データに記載されている範囲内の測定にご使用ください。無理な力を加えないでください。
- ▶ 溶剤 (例: アセトンなど) と一緒に保管しないでください。
- ▶ 取扱説明書に記載されているメンテナンスのため以外、測定器を開いたり、分解しないでください。

♻ 環境の保護:

- ▶ 不要になった充電式バッテリーや使用済みのバッテリーは、所轄自治体の廃棄方法に関する定めに従って処分してください。
- ▶ 製品寿命により、お使いの測定器が使用できなくなった場合は、電子製品の廃棄方法の定めに従って処分してください。

4. 機能概要

testo106食品用中心温度計は、各種食品の中心温度測定に適した堅牢な温度計で、次のような業種/領域の温度測定に最適です。

- ・食品業界: 食品の製造、調理段階における温度のスポット・チェック。
- ・液体、ペースト、半固形状食材の温度測定。

本製品を次のような測定に使用しないでください。

- ・爆発の危険がある場所での測定
- ・医療目的のための体温測定

保証書

無償修理をお約束する保証期間は出荷日から2年間です。但し、以下の場合は保証期間中でも有償になります。

- (1) 取り扱いの過誤による故障
- (2) 製品の改造、不当な修理により発生した故障
- (3) 天災地変などの不可抗力による故障及び損傷
- (4) 故障原因が本製品以外に起因する場合
- (5) 保証書の提示がない場合
- (6) 電池交換

修理のご依頼時には、製品に本書を添付の上、不具合内容を明記してお買い上げの販売店または弊社サービスセンターにご送付ください。なお、送料は送付元負担とさせていただきます。

品名	testo 106 食品用中心温度計
型番	0563.1063 08 (本体:0560.1060)
ご購入の販売店名	(ご購入日: 年 月 日)



株式会社 テストー

〒222-0033 横浜市港北区新横浜2-2-15 パレアナビル7F

- セールス TEL.045-476-2288 FAX.045-476-2277
- サービスセンター (修理・校正) TEL.045-476-2266 FAX.045-476-2277

ホームページ <http://www.testo.com> e-mail info@testo.co.jp

5. テクニカル・データ

項目	testo 106 食品用中心温度計
測定範囲	-50~+275℃
分解能	0.1℃
精度+1digit	±0.5℃ (-30.0~+100.0℃) ±1.0℃ (-50.0~+30.1℃) 測定値の±1% (+100.1~+275℃)
応答速度 t99	10秒 (液体温度を測定した場合)
測定頻度	2回/秒
動作温度	-20~+50℃
輸送・保管温度	-40~+70℃
電源	CR2032 (ボタン型電池) × 2個
バッテリー寿命	350時間 (標準)
ハウジング	ABS
保護クラス	IP67 (TopSafe プロテクタ装着時)
外形寸法	220×35×20mm
EC ガイドライン	2004/108/ECに適合
保証	2年間

規格に関して

この製品は、TopSafe ガイドライン EN13485 に適合しています。

- 適合性: S, T (保管、輸送)
- 環境: E (ポータブル温度計)
- 精度クラス: 0.5
- 測定範囲: -50~+275℃

EN13485によれば、測定器は、EN13486で、定期的に検査、校正を行うよう規定されています。(推奨: 1回/年)

※EN13485: ポータブル測定器に関する要求事項

※EN13486: 使用するデータロガーやポータブル測定器の校正

6. 初期操作

本温度計はバッテリー(ボタン電池)で動作します。まず最初にバッテリーを装填してください。



- 1 バッテリー・ボックスの蓋を開けます。
- 2 +の極性に注意してバッテリー(ボタン電池CR2032×2個)を装填します。
- 3 バッテリー・ボックスの蓋を閉めます。

7. 機能/操作

- ・サウンド機能をオンに設定(8章4)すると、ホールド・ボタン $\text{\textcircled{H}}$ を押す度に、またはアラーム値を超える度に、ブザーが鳴ります。
 - ・アラームLED機能をオンに設定(8章5)すると、上限あるいは下限アラームの設定値(7章3参照)を超えるとアラームLEDが点滅します。
 - ・電源自動オフ機能をオンに設定(8章6)すると、一度も操作ボタンが押されない状態が10分間続いたとき、温度計の電源が自動的に切れます。
 - ・自動ホールド機能をオンに設定(8章3)すると「AUTO HOLD」の文字が点滅します。設定した監視時間内の温度変化が0.2℃以内になると測定値が固定表示され、「AUTO HOLD」の文字が点灯状態になります。
- ▶ 自動ホールド測定のリスタート: 「AUTO HOLD」の文字が点灯しているときに $\text{\textcircled{H}}$ ボタンを押します。

7.1 電源オン / オフ

- ▶ $\text{\textcircled{H}}$ ボタンを押して電源を入れます。
- ▶ $\text{\textcircled{H}}$ ボタンを押し続けると電源が切れます

7.2 測定

正確な測定を行うため、浸漬/芯温プローブの先端を対象物に15mm以上、差し込んでください。

温度計の電源を入れます。

- ▶ 測定対象物にプローブの先端を差し込みます。
- 測定値がディスプレイに表示されます。
- ▶ 必要に応じて、自動ホールド機能(AUTO HOLD)のオン、オフを変更してください。(8章3を参照)

測定値のホールド(自動ホールド機能をオフに設定している場合)

- ▶ 測定中に $\text{\textcircled{H}}$ ボタンを押します。
- 測定値が固定表示され、「HOLD」の文字が点灯します。
- ▶ 再度 $\text{\textcircled{H}}$ ボタンを押すと、測定が再スタートします。

アラーム値を超過

- 「 \uparrow ALARM」(アラーム上限値超過)または「 \downarrow ALARM」(アラーム下限値超過)が点灯します。アラームLED機能がオンに設定されていれば、アラームLEDも点滅します。

7.3 アラーム限界値の設定

温度計の電源を入れます。

- 1 $\text{\textcircled{H}}$ (アラーム値表示/設定)ボタンを押して、アラーム上限値モードにします。 \uparrow (アラーム上限マーク)と現在の設定値が表示されます。または、 $\text{\textcircled{D}}$ (アラーム値表示/設定)ボタンを押して、アラーム下限値モードにし、下限値の設定をします。
 - 2 $\text{\textcircled{H}}$ または $\text{\textcircled{D}}$ を押して、アラーム値を設定します。ボタンを押し続けると、数値の表示変化が速くなります。
 - 3 $\text{\textcircled{H}}$ ボタンを押して値を確定します。温度計は測定モードになります。
- ▶ 必要に応じて、上記の手順で上/下のアラーム値の設定を変更します。

8. 温度計の設定

温度計の電源を一度切ります。

- 1 $\text{\textcircled{H}}$ ボタンを押し続けて、設定モードにします。
- 2 温度単位(℃)が点灯します。 $\text{\textcircled{H}}$ ボタンを押して確定します。
- 3 「AUTO HOLD」と「On」または「OFF」が点灯します。 $\text{\textcircled{H}}$ ボタンを押して自動ホールド機能のオン、オフを切り替えます。 $\text{\textcircled{H}}$ ボタンを押して確定します。

自動ホールドをオンにした場合:

測定値のホールドを行うにあたり、測定値が安定した状態(0.2℃

▶ 以内の変化)であると判断する経過時間(5, 10, 15, 20 秒)を

$\text{\textcircled{H}}$ ボタンで設定し、 $\text{\textcircled{H}}$ ボタンを押して確定します。

- 4 $\text{\textcircled{H}}$ マークが表示されたら「On」または「OFF」でアラーム音の設定をします。 $\text{\textcircled{H}}$ ボタンを押して、サウンド機能のオン、オフを切り替えます。 $\text{\textcircled{H}}$ ボタンを押して確定します。
 - 5 $\text{\textcircled{H}}$ マークが表示されたら「On」または「OFF」でアラームLEDの設定をします。 $\text{\textcircled{H}}$ ボタンを押して、アラームLED機能のオン、オフを切り替えます。 $\text{\textcircled{H}}$ ボタンを押して確定します。
 - 6 「AUTO OFF」と「On」または「OFF」が点灯します。 $\text{\textcircled{H}}$ ボタンを押して、電源自動オフ機能のオン、オフを切り替えます。 $\text{\textcircled{H}}$ ボタンを押して確定します。
- これで温度計の設定は完了です。温度計は測定モードになります。

9. メンテナンス

9.1 温度計のクリーニング

研磨剤の入った洗剤等は使用しないでください。

- ▶ 石鹸水などで湿らせた布で、ハウジングやプローブを軽く拭いてください。

9.2 バッテリーの交換

$\text{\textcircled{H}}$ この記号が表示された時はバッテリーの交換が必要です。(注: 電源オンのセグメントテスト時には必ず表示されます。)



- 1 バッテリー・ボックスの蓋を開けます。
- 2 +の極性に注意してバッテリー(ボタン電池CR2032×2個)を装填します。
- 3 バッテリー・ボックスの蓋を閉めます。

10. トラブルシューティング

エラー状態	考えられる原因	対策
$\text{\textcircled{H}}$ が点灯(計測中)	バッテリーが空です。	・バッテリーを交換して下さい。
--- が点灯	測定範囲を超えています。	・測定範囲内で測定して下さい。
温度計の電源が入らない。	バッテリーが空です。	・バッテリーを交換して下さい。
温度計の電源が切れてしまう。	電源自動オフ機能がオンになっています。	・電源自動オフ機能をoffに切り替えてください。(8章3をご参照)

ここに記述されていない問題が発生した場合は、お買上げの販売店またはテストサービスセンターへご連絡ください。

11. アクセサリ

製品名	製品型番
TopSafe プロテクタ	0516 8265
冷凍食品用穴あけドリル	0554 0826
プローブ保護キャップ付壁掛け用ホルダ	0554 0825